

J Aバンク長崎における地域密着型金融の取組状況（平成 28 年度）

J Aバンク長崎（長崎県下 J Aと農林中央金庫長崎支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 28～30 年度 J Aバンク長崎中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 28 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク長崎は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク長崎は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 29 年 3 月末時点の J Aバンク長崎の農業関係資金残高^(注1)は 17,843 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 2,857 百万円を取扱っています。

(注 1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注 2) J Aバンク長崎が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

	平成 29 年 3 月末現在
農業	17,160
穀作	348
野菜・園芸	1,944
果樹・樹園農業	679
工芸作物	219
養豚・肉牛・酪農	3,635
養鶏・鶏卵	8
養蚕	0
その他農業(注 1)	10,327
農業関連団体等(注 2)	683
合計	17,843

(注 1) 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

(注 2) 「農業関連団体等」には、J Aや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【資金種別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成29年3月末現在
プロパー農業資金(注1)	13,312
農業制度資金(注2)	4,531
農業近代化資金	2,768
その他制度資金(注3)	1,762
合 計	17,843

(注1) 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク長崎が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク長崎が低利で融資するものを対象としています。

(注3) 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成29年3月末現在
日本政策金融公庫資金(注)	2,857
合 計	2,857

(注) JAバンク長崎では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク長崎は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【長崎県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

○農業近代化資金(平成28年12月末)

JAバンク長崎 99.3%

○公庫受託貸付金(平成29年3月末)

JAバンク長崎 73.7%

(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

JAバンク長崎では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成28年度末時点で7JA・31名配置しています。

JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成28年度末時点で県内に30名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済部門等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例
JAの農業融資担当者・営農担当者等を対象に、実績検討会を開催し、農業融資伸長への取り組みについて議論。
JAの農業融資担当者・営農担当者等を対象に、農林中央金庫職員が講師となり、農業法人の決算書の見方や農業近代化資金に関する知識を習得するための研修会を開催。
JAの農業融資担当者と農林中央金庫職員による農業者や農業法人への同行訪問により、新しい案件を発掘。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

JAバンク長崎では、JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

JAバンク長崎は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

JAバンク長崎では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

	平成 28 年度 実行件数	平成 28 年度 実行金額	平成 29 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	40	214	449
就農支援資金	—	—	171
合計	40	214	620

【農業所得増大・地域活性化応援プログラム新規就農応援事業の助成実績】

新規就農応援事業の平成 28 年度の実績は、以下の通りとなっています。

<営農支援事業> 81 件 16,200 千円

<研修支援事業> 8 件 2,294 千円

(2) 農商工連携の推進

J Aバンク長崎は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【平成 28 年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
第4回 J Aグループ・J Fグループ九州沖縄商談会	平成 29 年 1 月 20 日	九州・沖縄各県 J Aバンク・農林中央金庫	170 団体	約 500 名	全体での商談件数 650 件 バイヤー・セラーあて事前アンケートによる予約商談方式により開催

(3) J Aバンク長崎講演会・セミナー等の開催・参画

J Aバンク長崎では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ブランドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【平成 28 年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
壱岐地区集落営農法人研修会	平成 28 年 4 月 12 日	壱岐地域集落営農法人経営支援協議会	各集落営農法人等	約 60 名	題目：農業法人等の経営強化
壱岐地区集落営農法人研修会	平成 29 年 2 月 28 日	壱岐地域集落営農法人経営支援協議会	各集落営農法人等	約 50 名	題目：農業法人等の経営強化

(4) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク長崎では、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

(5) 被災者等への支援

J Aバンク長崎では、自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

また、生産資材の高騰を受けて特別資金を創設するなど、担い手に対する経営支援に取り組んでいます。

【平成 28 年度 被災者等への支援取組み実績】

(単位：件、百万円)

取組事例	J A 名	内 容	件数	貸付実行金額
H28 経営緊急対策資金	長崎せいひ	平成 28 年 1 月の大雪・低温による寒波被害を受けた組合員に対し、当 J A 独自の低利資金(運転・施設資金)を新設。取扱いについては平成 28 年 5 月より受付開始。	17	23

(6) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク長崎では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【平成 28 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
正常先①	14	0	—	11	0.0%	—	
要注意先	うち その他要注意先②	17	1	2	15	5.9%	11.8%
	うち 要管理先③	25	2	4	19	8.0%	16.0%
破綻懸念先④	18	1	3	13	5.6%	16.7%	
実質破綻先⑤	27	1	0	24	3.7%	0.0%	
破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
	小計 (②～⑥の計)	87	5	9	71	5.7%	10.3%
	合計	101	5	9	82	5.0%	8.9%

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク長崎では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク長崎では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

平成 28 年度までのアグリシードファンドの実績は、4 件、23,390 千円となっております。

(2) 6次産業化の支援

J Aバンク長崎では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。

(3) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク長崎では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 28 年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 29 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金(注 1)	0	0	215
畜産特別資金(注 2)	0	0	387
その他	4	16	978
合計	4	16	1,580

(注 1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(注 2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(4) 動産担保融資の活用

J Aバンク長崎では、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

【平成 28 年度末 動産担保融資活用実績】

(単位：件、百万円)

	平成 28 年度末	
	件数	残高
農産物	0	0
畜産物	153	65
機械設備	0	0
その他(注 1)	33	565
合計	186	630

(注 1) 「その他」はアグリマイティ資金(アグリパワー資金)です。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク長崎は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンク長崎を通じて、平成 28 年度には県下の約 340 の小学校に対して、小学校 5 年生と先生方分として約 16,000 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、長崎県下 J A では、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【平成 28 年度 J Aバンク長崎食農教育応援事業による活動内容】 (単位：件)

J A 名	活動名	申請数	活動内容
長崎せいひ	農業体験	33	稲作、野菜栽培(野菜、芋)、果樹栽培(びわ)、みそ作り
ながさき県央	農業体験	16	稲作、野菜栽培(さつまいも、じゃがいも、かぼちゃ、トマト、小豆)、そば栽培
島原雲仙	農業体験	21	稲作、野菜栽培(さつまいも、じゃがいも、キャベツ)、カーネーション収穫、お茶摘み・お茶葉製造
ながさき西海	農業体験	29	稲作、野菜栽培(さつまいも、大豆、人参、トマト、スイートコーン)、果樹栽培(みかん)、みそ作り
ごとう	農業体験	8	稲作、野菜栽培(さつまいも)、小麦作り、そば栽培、うどん作り
壱岐市	農業体験	4	稲作、野菜栽培(さつまいも、ミニトマト、ナス、ピーマン、キュウリ、大豆、かぼちゃ)、もち米栽培
計		111	

5 地域密着型金融の取組事例

別紙のとおり

以上

地域密着型金融の取組事例について

新しい農業資金の創設

JA名: JAバンク長崎(県名:長崎県)

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	各金融機関の農業関連貸出への攻勢が強まる中、JAバンク利子補給を適用した「営農サポート資金」を創設いたしました。当資金は農業関係者の資金ニーズが高い農機具、農地取得、ハウス建設などの設備資金を対象とし、県下JAの農業融資の伸長、および県の農業活性化に寄与することを目的に、平成28年7月1日より県内7JAにて取扱いを開始いたしました。また当資金は、従来の農業資金に比べて書類作成負担も大幅に軽減されていることから、農業融資担当者の悩みの種であったスピードを要する資金ニーズへの対応も可能となりました。
2 概要	資金名 営農サポート資金 対象者 JA組合員である農業者(個人・法人等) 対象資金 設備(農機具、農地取得、ハウス建設等) 利子補給対象金額 1百万円以上 利子補給 利子補給率1.0%(適用金利▲1.0%)、利子補給期間は貸出日から3年応当日迄 保証人・担保 原則、長崎県農業信用基金会保証
3 成果 (効果)	① 平成28年7～12月(6か月間)で、新規貸出301百万円の実績。 ② 農業融資担当者の営業活動の活性化に寄与。
4 今後の予定 (課題)	平成29年(1～12月)は、当資金において限度額600百万円を設定し、引き続き組合員の農業経営をサポートし、農業所得の増大に貢献していきます。そして、農業者の資金ニーズを汲み取りながら、「営農サポート資金」と「農業近代化資金」の主力商品を活用し、JAバンク長崎が一体となって、県下の農業融資の伸長に取り組んでまいります。